



第28回例会

平成18年1月25日(水)
サンパレス福島

会長挨拶

野地 利雄会長

本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 ロータリーソング「奉仕の理想」
- 3 四つのテスト
- 4 来訪者紹介と会長挨拶 野地利雄会長
- 5 ポールハリス及び物故会員への追悼
- 6 新会員入会式 川村哲也さん
- 7 食事
- 8 35周年記念式典
- 9 米山奨学金授与
- 10 会員スピーチ
佐藤 信 第13代パスト会長
- 11 各委員会報告
ロータリー財団委員会
スマイリング委員会
出席委員会
- 12 閉会点鐘



皆さん、こんにちは。今月は、『ロータリー推進月間』であります。そして今週の1月27日(金)はロータリー創設者ポール・ハリスの命日となっております。生前のロータリアンとして世界規模の偉大な貢献を改めて認識し、伝え続けると共に、物故ロータリアンに対しても同様に冥福を祈り、生前の活動に敬意を表し、黙祷をする『追悼記念週間』となっております。

また本日は、先週、幹事が読み上げた半期の仮決算書と35周年記念事業委員長により、事業予算案と式次第案を皆様にご提供致します。ご検討の程、よろしくお申し上げます。

ご報告ですが、今まで米国カリフォルニア、アナハイムで14年間開催されてきた国際協議会が、153キロ南に下ったサンディエゴに場所が移るそうです。新居は、マンチェロ・サンディエゴ・グランドホテルです。新リーダーの方々は、2月16日～2月23日まで同ホテルで2006年度の国際協議会に参加致します。約530名のガバナーエレクトが出席します。もう一つは、RI理事会が2005年11月に北京と上海の仮ロータリークラブ加盟を票決し、中国のRCの道を築きました。特別代表に、コペンハーゲンRC会員のクリストファー・ボー・ブラムセン氏が選任されました。

また、ロシア西部に2006～07第2220地区を創設することを承認したそうです。これでロータリーを含

め、530地区に増えるそうです。本日は王さんがいらっしゃっておりますが、中国にロータリークラブ誕生の段取りが出来ることは、大変喜ばしいことで、嬉しく思います。祝福し世界平和の貢献にご期待します。

また今月31日は、国際奉仕委員会により、第一回研修旅行の打合せ会が当サンパレスにて18時より行われます。旅行日まで約1ヶ月をきっております。私も含め、ベストの状態に参加できますよう、体調に十分気をつけて下さい。

また本日のスピーカーは、当クラブの大先輩で佐藤先生にポール・ハリス追悼と言う事で、スピーチをお願いしております。ロータリーに関する著書を8冊執筆していらっしゃいます。クラブ30周年時には、『温故知新』を執筆し、ロータリアンに配布されております。先生におかれましては、福島南RCの歩みでもあり、いつまでも先生のことを学び続けていきたいと思っております。今日はよろしくお申し上げ、会長挨拶と致します。

ゲストスピーチ



佐藤 信 第13代パスト会長

ロータリーの創設者であるポール・ハリスについてお話をさせていただきます。ポールの生い立ち・学生時代・五年間の世界遍歴の旅の順に述べさせていただきます。

ポールは3才の時に父の倒産で一家四散、祖父母の許に預けられたので両親との交渉関係がなかった。従って未だ保護者を必要とした時代から無鉄砲に勝手きままに飛び回っていた。

学生時代は二度も放校処分を受け、何度か大学をかわって最終的にはアイオワ大学を卒業したが、この事実は、祖父の援助で立派な教育を安易に受けることが出来るその有難味を殆ど認識していなかった事による。仮にポールが額に汗して自分で学資を稼ぎ、それで受ける教育には十分な価値を認め、大いにそれを尊重したであらう。

彼は卒業後直ちに弁護士を開業する事なく、法律家として世に立つ前に凡ゆる人生の経験を積み、社会を十分に見聞しようと決心し、5年間諸国遍歴の旅に出掛けた。彼はこの遍歴の旅で一度も無賃乗車をした事がない。成功の秘訣は、常に服装を整い身辺によく注意が行き届いていること。仕事を選ばず精神労働であれ肉体労働であれこれに従事すること。与えられた仕事に全力を尽くす事であった。

経験修行のこの5年間は、ポールの視野を拡大し、彼の人間に対する理解を向上させたのであった。そしてこの間の見聞は、後年国際ロータリー会長としての彼の見識に大きなプラスとなり、ロータリー発展の上で大きな資源となったのであります。



- 【会員名】 宍戸 英男
- 【企業名】 株式会社 旭電化
- 【業務内容】 電気めっき業
(亜鉛、ニッケル・クロム、硬質クロム、無電解ニッケル)
- 【PR】 信頼されるめっき技術と環境にやさしいめっき処理！
めっきの事なら何でもおまかせください。

